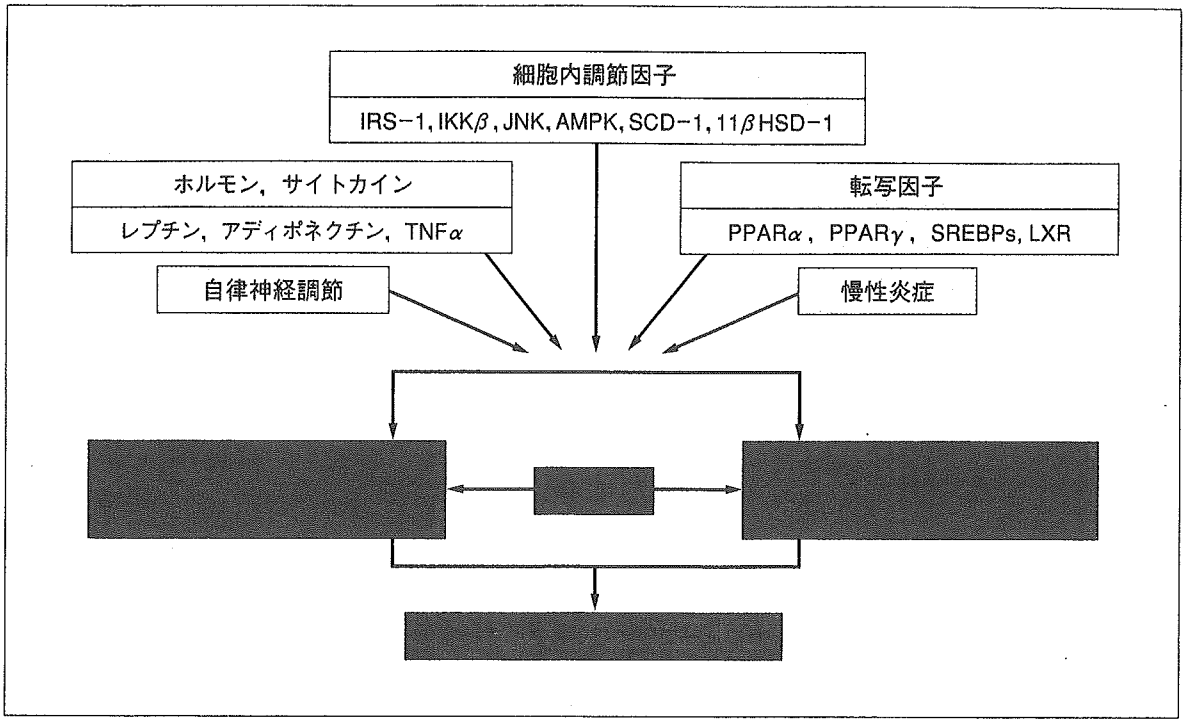
図2　メタボリックシンドロームの原因となる標的因子



略語：巻末の「今月の略語」参照

る因子を同時に解析に加える誤りが，血圧関連因子が単独で抽出されてしまう理由であることが指摘されている．よって，因子分析の結果は慎重に解釈しなければならないが，メタボリックシンドロームが内包する異なった病態がそれぞれに持つ遺伝的背景を明らかにすることが，メタボリックシンドロームのより正確な診断と効果的な臨床介入に重要であることは明白である．

メタボリックシンドロームの候補遺伝子

Reaven 以来，メタボリックシンドロームの成因的基盤をなすものとして「インスリン抵抗性の亢進」が注目されている[7]．例えば，インスリンシグナル伝達機構の1分子を欠損するマウスでは，骨格筋を中心としたインスリン抵抗性の亢進に加え，メタボリックシンドロームに特徴的な脂質代謝異常と高血圧を呈することが報告されている[8]．また，脂肪細胞はインスリン感受性や糖・脂質代謝，血圧の調節にあずかるさまざまな生理活性物質（アディポサイトカイン）を産生しており，脂肪細胞自体の異常もインスリン抵抗性やメタボリックシンドロームの発現を規定・修飾する因子であることが示されている．このようなメタボリックシンドロームの原因となりうる標的因子（図2）に関連する遺伝子は，メタボリックシンドロームの疾患感受性を規定する有力な候補遺伝子である．実際に，多数の候補遺伝子上の変異や多型とメタボリックシンドロームに関連する表現型との間で広く相関研究（association study）が行われ，複数の表現型との間に有意な相関が見られる遺伝子が幾つか報告されている（表1）．これらの中で，PPARγ 遺伝子の Pro12Ala 多型は2型糖尿病の発症リスクを 25% 程度増加するとされ，これは日本人においても確認されている[9]．また，アディポネクチン遺伝子の Ile164Thr 変異が日本人において低アディポネクチン血症と糖尿病に関連し，メタ

表1　メタボリックシンドローム関連遺伝子

遺伝子名	染色体上の局在	多型 / 変異	関連する表現型
LMNA（ラミン A/C）	1q21	H566H	TG, HDL & MS
CAPN10（カルパイン 10）	2q37	SNP−43	BS, TG（肥満者で）
PPARG（PPARγ）	3p25	P12A	TG, HT, IR & MS
Adiponectin（アディポネクチン）	3q27	I164T	MS
GCCR（グルココルチコイド受容体）	5q31	RFLP	Ob, HT, IR
ADRB2（β_2 アドレナリン受容体）	5q32−34	G16R	MS（男性で）
NOS3（内皮依存性 NO 合成酵素）	7q36	7164G−T, D298D	HT & MS
INS（インスリン）	11p15	RFLP	TG & MS
APOC3（アポタンパク質 C3）	11q23	455T−C	TG, Ob & MS
APOC3/A4/A5（アポタンパク質 C3/A4/A5）	11q23	SNP	Ob, HT, IR, TG
INPPL1（SHIP2）	11q23	SNP	HT & MS
GNB3（G タンパク質 β_3 サブユニット）	12p13	C825T	HT & MS
UBL5（BEACON）	19p13	SNP	BS, TG, Ob
PPARA（PPARα）	22q12−13	L162V	TG, HDL, Ob
その他の遺伝子：ADIPOR1（アディポネクチン受容体 1 型），ADRB3（β_3 アドレナリン受容体），LEP（レプチン），LPL（リポタンパク質リパーゼ），PTP1B（タンパク質チロシン脱リン酸化酵素 1B），UCP1 & 2（脱共役タンパク質 1 & 2）			

SNP：単一塩基多型，RFLP：制限酵素切断断片長多型，TG：高トリグリセリド血症，
HDL：低 HDL コレステロール血症，MS：その他のメタボリックシンドロームの表現型，BS：糖代謝異常，
HT：高血圧，IR：インスリン抵抗性，Ob：肥満

ボリックシンドロームおよび冠動脈疾患とも関連する可能性が報告されている[10]．

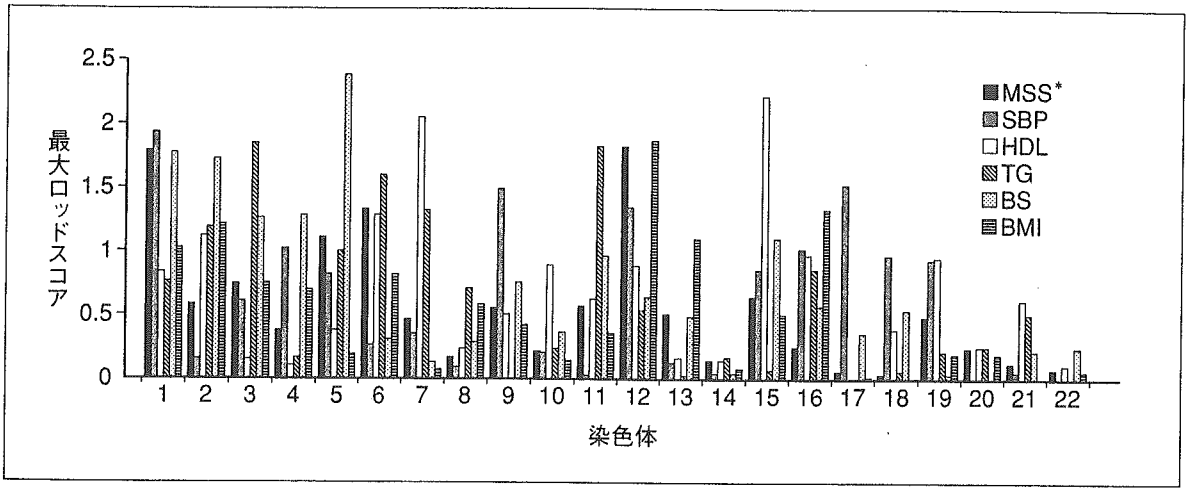
ゲノムワイド連鎖解析による原因遺伝子座の探索

家系内や集団中で複数の遺伝子座が同時に分離（遺伝）されていく現象を連鎖（linkage）と呼び，それは各遺伝子座が同一染色体上の近傍に位置することを意味する．この「連鎖」の概念に基づき，遺伝子マーカーと原因遺伝子との間の組み換え率から原因遺伝子の染色体上の位置を推定する方法が連鎖解析法である．ヒトゲノムの解読により，ゲノム全体に高密度に散在するマイクロサテライトマーカーや単一塩基多型（SNP）などの遺伝子多型のカタログ化が進み，ゲノム全体を俯瞰した連鎖解析や相関解析が可能となりつつある．

1．複数の形質を同時に対象とした解析

Framingham Heart Study の登録者を対象に，メタボリックシンドロームに関連する5つの形質（収縮期血圧，トリグリセリド，HDL コレステロール，血糖値，BMI）およびこれら5つを複合した形質（メタボリックシンドロームスコア：MSS と定義）に対して，マイクロサテライトマーカーを用いた全ゲノム解析を行った結果が最近報告されている（この場合の対象形質はすべて数量化可能なものであるため，量的形質遺伝子座：QTL 解析とも呼ばれる）[11]．その結果，おのおのの形質や MSS に比較的弱い連鎖を示すピークが幾つかの染色体に散在して見られたが，ロッドスコアで 3.3 以上とされる有意（significant）な連鎖は認められず，1.9 以上とされる示唆的（suggestive）な連鎖がわずかに認められた（図3）．各形質および MSS の

図3　メタボリックシンドロームとその形質に関するQTLゲノム解析の結果（文献[11]より引用改変）



* MSSとは，SBP，HDL，TG，BS，BMIの5つの形質に関する標準誤差を総和し，年齢および性別で補正したものと定義．
SBP：収縮期血圧，HDL：HDLコレステロール，TG：トリグリセリド，BS：血糖値，BMI：体格指数

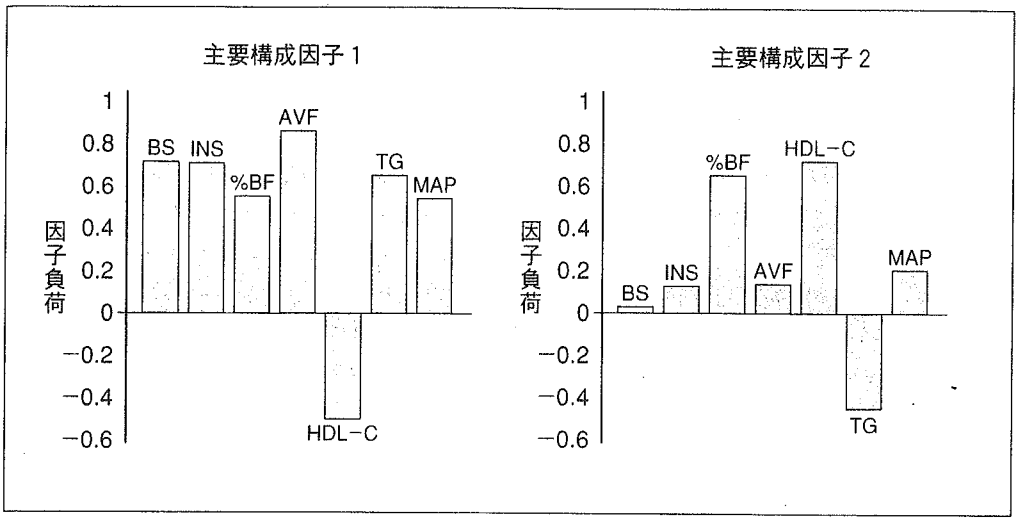
表2　各形質の遺伝度，最大ロッドスコア，QTL領域（Framingham Heart Study）
（文献[11]より引用改変）

形質	遺伝度	ロッドスコア	QTL（領域）	cM**
収縮期血圧	0.48	1.93	1p31	97
HDLコレステロール	0.62	2.27	15p13-q11	1
トリグリセリド	0.56	1.85	3p26	9
血糖値	0.39	2.37	5pter	0
体格指数（BMI）	0.51	1.86	12q21	85
メタボリックシンドロームスコア（MSS）*	0.61	1.82	12q13	63

* MSSは，上記5つの形質に関する標準誤差を総和し，年齢および性別で補正したものと定義．
**染色体の短腕端からの距離，cM：センチモルガン．
略語：巻末の「今月の略語」参照

遺伝度はやはり0.39～0.62と高く，特に5つの形質を合算したMSSの遺伝度が0.61と極めて高いことは，メタボリックシンドロームの成立に遺伝因子が大きく関与していることを示すものである．しかし一方連鎖のピークに関しては，血糖値，HDLコレステロール，収縮期血圧のおのおのの最大ロッドスコアがそれぞれ2.37，2.27，1.93と，示唆的なレベルの連鎖が確認されたのに対して，MSSでは1.82とむしろそれらを下回るロッドスコアしか得られていない（表2）．言い換えるとこの結果は，メタボリックシンドロームの診断基準に用いられる5つの形質に関して，それらの組み合わせや重みづけに関する考慮をせずに単純にその総和をもってメタボリックシンドロームを定義するとすれば，遺伝因子の検出力はおのおのの形質単独の場合に比べて必ずしも改善されないことを示している．これは，「メタボリックシンドロームは複数の独立した構成因子（病態）からなる」という因子分析の結果に合致し，今後メタボリックシンドロームの遺伝解析を行ううえでは，各構成因子に焦点を合わせた解析が重要になるものと思われる．このように

図4　メタボリックシンドロームの主要因子分析の結果（HERITAGE Family Study）
（文献[12]より引用改変）



BS：血糖，INS：インスリン，%BF：体脂肪率，AVF：腹部内臓脂肪，
HDL−C：HDL コレステロール，TG：トリグリセリド，MAP：平均動脈圧

メタボリックシンドロームは複数の独立した構成成分からなるため，何に重点を置くかによって解析対象が異なり，その結果同定される疾患感受性遺伝子も異なり，また解析対象となる人種の違いも結果に大きな影響を及ぼしうることなどに注意が必要である．

2．構成因子を対象とした解析例

メタボリックシンドロームに注目したゲノムワイド連鎖解析は，従来は上記のようにメタボリックシンドロームに関連した複数の形質を同時に対象としたものが主であったが，最近では，因子分析によって抽出された各構成因子を解析対象として，全ゲノムワイド連鎖解析を行ったものも報告されつつある．HERITAGE Family Study における 456 人の白人および 217 人の黒人を対象とした，そのような研究結果が報告されている[12]．まず，因子分析の結果2つの主要な構成因子が抽出され，主要因子1は図4に示すように7つの形質すべてに関連（因子負荷の絶対値＞0.4 が有意）し，全体の分散の 40% を説明する因子であるとされた．また，主要因子2は体脂肪率，HDL コレステロール，トリグリセリドに関連し，全体の分散の 15% を説明する因子であるとされた．

次いで，これらの主要構成因子に関して全ゲノム解析が行われ，幾つかの連鎖を示唆する領域が得られたが，驚いたことに白人と黒人で示された連鎖領域は大きく異なっており，重複する領域は全く認められなかった（表3）．このことはメタボリックシンドロームの成因に人種差が極めて大きく関係することを意味し，我が国におけるメタボリックシンドロームはやはり我が国の独自のデータに基づいて診断および解釈されるべきであることを示している．

3．ゲノムワイド連鎖解析のまとめ

現在までに，多数の疾患感受性遺伝子座位が報告されているが，中でも第7染色体長腕 7q21–31 や第6染色体長腕 6q22–26，および第1染色体長腕 1q21–31 の各領域は複数の研究で報告されており，これらの領域にメタボリックシンドロームの主要な疾患感受性遺伝子が存在する可能性が高い[13]．特に，

表3　メタボリックシンドロームの主要構成因子を対象とした全ゲノム解析の結果（HERITAGE Family Study）（文献[12]より引用改変）

	染色体領域	短腕端からの距離（cM）	構成因子	Multipoint P-value
白人	1q41	233	因子1	0.0097
	2p22	45～48	因子2	0.0045
	9q13	40	因子1	0.0095
	10p11	27～38	因子1	0.0003
	19q13	59	因子2	0.0009
黒人	1p34	54～56	因子2	0.0011
	7q31	134	因子2	0.0071
	9q21	60	因子2	0.0049

HERITAGE Family Study で黒人におけるメタボリックシンドロームの主要な原因遺伝子座が存在する可能性が示された第7染色体の長腕領域は，ヒスパニックを対象とした同様の研究においても強い連鎖を示し[14]，大いに注目される．

おわりに

メタボリックシンドロームに関する因子分析の結果を中心として，メタボリックシンドロームの疾患感受性を規定する因子と幾つかの候補遺伝子，そしてゲノムワイド連鎖解析の結果に関して述べた．因子分析の結果に示されるように，メタボリックシンドロームはおそらくは複数の異なった病態を内包する概念であり，将来的にはおのおのの主たる成因に従った細分化が必要になるものと思われる．メタボリックシンドロームの遺伝的背景を明らかにすることはその端緒となり，またメタボリックシンドロームのより正確な診断と効果的な臨床介入に重要となろう．

文　献

1) Alberti K G, et al: Definition, diagnosis and classification of diabetes mellitus and its complications. Part 1: diagnosis and classification of diabetes mellitus provisional report of a WHO consultation. Diabet Med 15 (7): 539–553, 1998.
2) Expert Panel on Detection, Evaluation, and Treatment of High Blood Cholesterol in Adults: Executive Summary of The Third Report of The National Cholesterol Education Program (NCEP) Expert Panel on Detection, Evaluation, and Treatment of High Blood Cholesterol In Adults (Adults Treatment Panel Ⅲ). JAMA 285 (19): 2486–2497, 2001.
3) Isomaa B, et al: Cardiovascular morbidity and mortality associated with the metabolic syndrome. Diabetes Care 24 (4): 683–689, 2001.
4) Poulsen P, et al: Genetic versus environmental aetiology of the metabolic syndrome among male and female twins. Diabetologia 44 (5): 537–543, 2001.
5) Meigs J B: Invited commentary: insulin resistance syndrome? Syndrome X? Multiple metabolic syndrome? A syndrome at all? Factor analysis reveals patterns in the fabric of correlated metabolic risk factors. Am J Epidemiol 152 (10): 908–911, 2000.
6) Lawlor D A, et al: (Mis)use of factor analysis in the study of insulin resistance syndrome. Am J Epidemiol 159 (11): 1013–1018, 2004.
7) Reaven G M: Banting lecture 1988. Role of insulin resistance in human disease. Diabetes 37 (12): 1595–1607, 1988.
8) Abe H, et al: Hypertension, hypertriglyceri-

demia, and impaired endothelium-dependent vascular relaxation in mice lacking insulin receptor substrate-1. J Clin Invest 101 (8): 1784-1788, 1998.
9) Mori H, et al: The Pro12 → Ala substitution in PPAR-gamma is associated with resistance to development of diabetes in the general population: possible involvement in impairment of insulin secretion in individuals with type 2 diabetes. Diabetes 50 (4): 891-894, 2001.
10) Ohashi K, et al: Adiponectin I164T mutation is associated with the metabolic syndrome and coronary artery disease. J Am Coll Cardiol 43 (7): 1195-1200, 2004.
11) McQueen M B, et al: A QTL genome scan of the metabolic syndrome and its component traits. BMC Genet 4 (Suppl 1): S96, 2003.
12) Loos R J, et al: Genome-wide linkage scan for the metabolic syndrome in the HERITAGE Family Study. J Clin Endocrinol Metab 88 (12): 5935-5943, 2003.
13) 後藤田貴也: 代謝性疾患の遺伝子学. 最新医 59 (増刊): 2049-2061, 2004.
14) Cheng L S, et al: Coincident linkage of fasting plasma insulin and blood pressure to chromosome 7q in hypertensive Hispanic families. Circulation 104 (11): 1255-1260, 2001.

Genetic Susceptibility to the Metabolic Syndrome

Takanari Gotoda
Clinical and Molecular Epidemiology, Graduate School of Medicine, University of Tokyo

Gene Transfer and Target Diseases

Mariko Harada-Shiba

1 Gene Transfer and Target Diseases

The first human gene-transfer protocol was developed in 1989, in an attempt to track lymphocytes in the immunologic treatment of melanoma and renal cell cancer. Although many attempts have been made in clinical trials of gene therapy, the FDA has not approved the marketing of any gene therapy agent.

For the successful therapeutic application of gene therapy, the delivery of several kinds of genes and nucleotides has been tested in animal models of genetic diseases as well as in patients to supply missing proteins to maintain cellular function, or to deliver proteins that induce proliferation or apoptosis of the cell, etc. For example, gene therapy has been applied to treating cardiovascular diseases, including coronary artery disease (CAD), peripheral artery disease (PAD), restenosis after vascular interventions and graft failure, hyperlipidemia, thrombosis, and cancer (e.g., lung, kidney, prostate, brain). In this chapter, the pathophysiology of several diseases and the application of gene delivery in their treatment will be described.

2 Cardiovascular Diseases

2.1 Coronary Artery Disease and Peripheral Artery Disease

Atherosclerosis is the most prevalent process that affects adult coronary and peripheral arteries. Atherosclerotic lesions narrow arteries, leading to a reduction of the arterial blood supply to the myocardium and skeletal muscle. Stimulation of collateral vessel formation by the use of gene therapy will help to increase perfusion of the ischemic tissues. Genes encoding growth factors, such as vascular endothelial growth factor (VEGF), fibroblast growth factor (FGF) and hepatocyte growth factor (HGF),

Department of Bioscience, National Cardiovascular Center Research Institute, 5-7-1 Fujishirodai, Suita, Osaka 565-8565, Japan

have been successfully tested in animal models and clinical trials for therapeutic angiogenesis.

VEGFs are mitogenic and survival factors for endothelial cells, and promote angiogenesis and lymphangiogenesis. The VEGF family consists of six members, VEGF-A, -B, -C, -D, -E and placental growth factor (PLGF), which differ in their molecular masses and biological properties (Dvorak et al. 1995; Leung et al. 1989; Maglione et al. 1993; Joukov et al. 1996; Achen et al. 1998; Ogawa et al. 1998; Olofsson et al. 1996). The three receptors, VEGFR-1, VEGFR-2 and VEGFR-3, have tyrosine kinase activity. VEGF-A is the most well known member of the VEGF family, as it plays a crucial role in angiogenesis and vasculogenesis (Ferrara 2000, 2001). In addition, VEGF-A has several splice variants, of which two ($VEGF_{121}$ and $VEGF_{165}$) have been reported to be angiogenic in both animal models and clinical trials (Losordo et al. 1998; Vale et al. 2000). $VEGF_{121}$ is readily diffusible because it lacks a heparan-sulfate binding site, whereas $VEGF_{165}$ binds to the matrix after being secreted. VEGF-B, -C, -D, -E and PLGF also show angiogenic activity in animal models (Yoon et al. 2003; Rissanen et al. 2003; Kiba et al. 2003).

The FGF family has twenty-three members that share 30%–70% identical amino acid sequences. These growth factors act directly on vascular cells and induce endothelial cell growth and angiogenesis. Among the FGFs, FGF-1, -2, -4 and -5 have been tested for their angiogenic activity in animal models and are also the subjects of clinical trials in the therapy of cardiovascular disease and Atherosclerosis obliterans (ASO) (Ueno et al. 1997b; Javerzat et al. 2002; Grines et al. 2003). FGFs are multifunctional proteins that act through various alternatively spliced isoforms with four tyrosine kinase receptors, FGFR-1, -2, -3 and -4 (Galzie et al. 1997; Ornitz et al. 1996).

HGF is another multifunctional growth factor that stimulates the proliferation and migration of endothelial cells. In rabbit, rat and mouse ischemia models, HGF was reported to stimulate angiogenesis (Morishita et al. 1999, 2002; Morishita 2004; Hayashi et al. 1999). The efficacy and safety of intramuscular injection of naked human HGF plasmid was recently demonstrated in clinical trials in 22 patients with PAD or Berger's disease (Morishita 2004).

Angiopoietins (Angs) are also growth factors for vascular development. The Ang family has four members, Ang-1, -2, -3, -4, all of which bind to Tie-2, a tyrosine kinase receptor (Ward and Dumont 2002). Ang-1/Tie-2 and VEGF/VEGFR2 are crucial for the mobilization and recruitment of hematopoietic stem cells and the recruitment of circulating endothelial progenitor cells (Hattori et al. 2001). Ang-1 decreases the inflammatory response and promotes vascular maturity; thus, a combination of VEGF and Ang-1 may be a good strategy for therapeutic angiogenesis (Siddiqui et al. 2003; Yamauchi et al. 2003).

Hypoxia-inducible transcription factor (HIF)-1α can activate several genes involved in angiogenesis, such as VEGF, VEGFR-2, IGF-2 and erythropoietin (Levy et al. 1995). Adenovirus-mediated HIF-1α gene therapy is currently in clinical testing for the treatment of myocardial ischemia.

2.2 Restenosis After Vascular Interventions and Vein Graft Failure

The occlusion of arteries after balloon angioplasty, stenting, or the failure of bypass vein graft is a major factor that determines the prognosis of peripheral and coronary

artery disease. Smooth muscle cell proliferation, remodeling, matrix deposition, thrombosis, and platelet and leukocyte adhesion may all play a role in the development of arterial restenosis in these settings (Topol and Serruys 1998). In order to decrease vascular cell proliferation, various gene therapy strategies have been employed. Antiproliferative strategies designed for the treatment of experimental cardiovascular disease can be grouped into two main categories: (1) antisense approaches, ribozymes, and transcription-factor decoy strategies to inactivate positive cell cycle regulators; (2) overexpression of negative regulators of cell growth.

Transfection to arterial smooth muscle cells with thymidine kinase combined with gancyclovir, antisense oligonucleotides and ribozymes against cell cycle regulators, c-*myb*, c-*myc*, *cdc*-2, *cdk*-2, *ras*, *bcl*-x, and decoy constructs against transcription factors, such as E2F and NFκB, have all been shown to inhibit neointimal proliferation (Morishita et al. 1993, 1997; Indolfi et al. 1995; Pollman et al. 1998; Burgess et al. 1995; Suzuki et al. 1997). Inhibition of the cell cycle by transfection of genes encoding the non-phosphorylated forms of the retinoblastoma gene products p21, p27, p53, or of the growth arrest homeobox gene (*gax*) has been reported in animal models (Tanner et al. 1998; Yonemitsu et al. 1998; Chang et al. 1995a,b; Smith et al. 1997).

The transfection of genes encoding growth factors, including VEGF and HGF, results in decreased neointima formation in experimental animals (Hiltunen et al. 2000; Laitinen et al. 1997). The rapid regeneration of endothelial cells by growth factors restored the secretion of nitric oxide, C-type natriuretic peptide (CNP) and prostacyclin I_2, which have anti-proliferative effects on smooth muscle cells. The local expression of CNP suppressed neointimal formation in injured arteries of rats and vascular remodeling in porcine coronary arteries (Ueno et al. 1997a; Morishige et al. 2000).

2.3 Hyperlipidemia

Some hyperlipidemias are congenital, caused by a monogenic disorder. The strategies of gene therapy in hyperlipidemia are divided into three groups. (1) to supply the defective gene to correct the dyslipidemia, (2) to overexpress proteins involved in lipid metabolism, and (3) miscellaneous approaches.

Several studies have applied the first therapy strategy to the treatment of monogenic hyperlipidemias. Familial hypercholesterolemia (FH) is caused by defect in the LDL receptor, which results in severe hypercholesterolemia beginning at birth, cutaneous and tendon xanthomas, and atherosclerosis in childhood (Goldstein JL 2001). Trials of LDL or VLDL receptor gene delivery to the liver were carried out in WHHL rabbits and FH patients (Grossman et al. 1994, 1995; Kozarsky et al. 1994; Pakkanen et al. 1999; Lebherz et al. 2004; Kankkonen et al. 2004). The Apo A1 gene encoding a protein necessary for HDL synthesis and involved in reverse cholesterol transport, was delivered in patients deficient in this gene (Benoit et al. 1999). Apo E gene transfer was shown to be successful in treating *apoE* knockout mice (Cioffi et al. 1999; Okamoto et al. 2002; Gough and Raines 2003; Harris et al. 2002). Lipoprotein lipase (LPL), which catalyzes triglyceride formation in chylomicrons and VLDL, were delivered in LPL-deficient animals (Excoffon et al. 1997; Liu et al. 2000). Delivery of the gene encoding lecithin cholesterol acyl transferase (LCAT) corrected dyslipidemia in patients deficient in the gene and in hypoalphalipoproteinemia patients (Brousseau et al. 1998; Seguret-Mace et al. 1996).

The overexpression of proteins involved in the regulation of lipid metabolism has been tested in several systems. Hepatic expression of the catalytic subunit of apolipoprotein B mRNA editing enzyme (Apobec-1) reduced serum LDL-cholesterol levels in normal and WHHL rabbits (Greeve et al. 1996; Kozarsky et al. 1996). Expression of secreted "decoy" human-macrophage scavenger receptors (MSR) inhibited foam-cell formation in murine macrophages (Jalkanen et al. 2003a,b). Overexpression of LPL in transgenic WHHL rabbits improved hyperlipidemia and obesity (Koike et al. 2004). Finally, the long-term expression of human apo A-1 increased HDL size and inhibited atherosclerosis progression in LDLR knockout mice (Belalcazar et al. 2003).

2.4 Thrombosis

Gene transfer has a number of cardiac and systemic applications disease conditions, such as acute coronary syndromes, restenosis following percutaneous coronary intervention (PCI) and venous grafts, and thrombotic states. The strategies for gene therapy of thrombosis are: (1) to inhibit the coagulation pathway or platelet aggregation, (2) to activate fibrinolysis, and (3) to modulate endothelial function.

In order to target the coagulation cascade, transfer of the hirudin gene led to reduced intimal hyperplasia in a rat carotid-artery injury model (Rade et al. 1996). Gene delivery of thrombomodulin, a cell-surface glycoprotein of endothelial cells that binds thrombin, was reported to reduce thrombus formation in a rabbit model of stasis-induced arterial thrombosis (Waugh et al. 1999). In a rabbit carotid shear-stress-induced model of thrombosis, overexpression of the tissue-factor pathway inhibitor (TFPI) gene reduced thrombus formation (Nishida et al. 1999). Overexpression of cyclooxygenase-1, an inhibitor of platelet aggregation, increased production of the antiplatelet prostaglandin prostacyclin and reduced thrombus production in a porcine model of balloon-injury-induced carotid thrombosis (Zoldhelyi et al. 2001). Transfer of the nitric oxide (NO) synthase gene was reported to reduce arterial thrombosis in a rat carotid injury model and in a porcine coronary artery balloon-injury model (von der Leyen et al. 1995).

The targeted activation of fibrinolysis was achieved by overexpressing either recombinant tissue-type plasminogen activator (rTPA) or surface-anchored urokinase in endothelial cells and then seeding these cells into grafts in order to increase fibrinolytic activity. Reduced local platelet and fibrin deposition were observed while systemic markers of coagulation and fibrinolysis remained unchanged (Dichek et al. 1996).

Overexpression of NO synthase modulates endothelial function, inhibiting platelet adhesion after arterial injury (Yan et al. 1996).

2.5 Primary Pulmonary Hypertension

Primary pulmonary hypertension is a rare but life-threatening disease that causes right ventricular failure and death. The average survival from the time of diagnosis is 2.8 years (Nagaya 2004). In order to reduce pulmonary vascular resistance, the transfer of genes encoding eNOS, calcitonin gene-related peptide (CGRP), and prostacyclin synthase (PGIS) has been shown to be effective in model animals (Champion et al. 1999, 2000; Christman et al. 1992; Tuder et al. 1999; Nagaya et al. 2000).

2.6 Cerebral Vascular Disease

Several possible targets for gene therapy in treating cerebral vascular disease have been proposed: (1) prevention of vasospasm after subarachnoid hemorrhage (SAH), (2) protection against brain damage after ischemic stroke, (3) stimulation of collateral vessel formation in areas at risk of ischemia, (4) prevention of restenosis after angioplasty of the carotid and vertebrobasilar arteries, (5) inhibition of thrombosis.

Vasospasm is a serious problem after SAH and, currently, there is no effective method of prevention. Vasospasm is a great potential target of gene therapy because it occurs several days after the occurrence of SAH, so that there is sufficient time to deliver a gene (Toyoda et al. 2003). Moreover, the risk of vasospasm is highest during the 2 to 3 weeks after SAH, a short enough period of time to allow transient gene expression. The mechanisms of vasospasm after SAH may include impaired endothelium-dependent vasorelaxation, production of endothelium-derived contracting factors (endothelin, etc.), and impaired activity of potassium channels in cerebral vessels.

The in vivo transfer of the gene encoding endothelial NOS improved the NO mediated relaxation of the basilar arteries in vitro after experimental SAH (Onoue et al. 1998). Vasospasm in transgenic mice that overexpressed CuZn-SOD or EC-SOD was less severe after experimental SAH (Kamii et al. 1999); McGirt et al. 2002). Vascular contraction was inhibited after SAH by intracisternal administration of preproendothelin-1 antisense oligoDNA, which reduced production of endothelin peptide (Onoda et al. 1996).

CGRP has potent activity in opening potassium channels, hyperpolarizing arterial muscle, and dilating arteries. After SAH, CGRP was shown to depleted from nerves supplying cerebral arteries. The genetic transfer of prepro-CGRP prevented vasospasm in rabbits after experimental SAH (Nozaki et al. 1989; Edvinsson et al. 1991).

The therapeutic targets and genes used for gene therapy of vascular diseases are summarized in Table 1.

TABLE 1. Therapeutic target and genes used for gene therapy in vascular disease

Therapeutic target	Treatment genes
Therapeutic angiogenesis	VEGF-A, -B, -V, -D, -E, FGF-1, -2, -4, -5, angiopoetin-1, HGF, MCP-1, PDGF, eNOS, iNOS, adrenomedullin
Restennosis, vein-graft failure	VEGF-A, C, eNOS, iNOS, COX, Thymidine kinase, CNP Fas ligand, p16, p21, p27, p53, NFkB and E2F decoys, cdk-2, cdc-2, c-myb, c-myc, ras, bcl-x, PCNA antisense oligonucleotides Ribozimes, Bloking PDGF or TGF-β expression or their receptors
Atherosclerosis, hyperlipidaemia	LDL receptor, VLDL receptor, apoA-1, Lipoprotein lipase, Hepatic lipase, LCAT, apoB, Lipid transfer proteins, Lp(a) inhibition, Soluble scavenger-receptor decoy, Soluble VCAM or ICAM, SOD, PAF-AH
Thrombosis	Hirudin, tPA, thrombomodulin, COX, TFPI
Pulmonary hypertension	Prepro-calcitonin gene related peptide, ANP, eNOS, prostacyclin syntase, VEGF-A, adrenomeullin
Vasospasm after SAH	Endothelial NOS, ECSOD, CuZnSOD, Antisense preproendothelin-1, Prepro-CGRP

3 Cancer

Cancer is a genetic disease in which individual cells have mutations in genes related to growth control and apoptosis. In addition, cancer cells also have support systems to promote invasion and metastasis. Tumor growth is a result of the interaction of cancer cells with their microenvironment, including the extracellular matrix, immune system cells and cells involved in angiogenesis; therefore, each of these steps can serve as a target in controlling tumor growth. The strategies for cancer gene therapy can be directed at the tumor itself or at the host. Strategies directed at the tumor involve killing the tumor cells or slowing down their growth by, for example, introducing tumor suppressor genes, suppressing protooncogenes, and inducing prodrug/suicide, or apoptosis. Strategies direct at the host involve the inhibition of angiogenesis, the protection of normal tissues and increasing immunity.

3.1 Tumor Suppressor Genes

In order to target growth regulation in cancer cells, tumor suppressors, that inactivate the growth of some tumors, can be introduced (Bookstein et al. 1993). Since mutations in *p53* are widespread in human cancer, this gene may be the first target for the genetic therapy of cancer using tumor suppressors. The *p53* gene encodes a transcription factor involved in the regulation of the cell cycle and apoptosis. Gene transfer of *p53* to *p53*-defective cells resulted in cessation of cell growth or the induction of apoptosis (Yen et al. 2000; Horio et al. 2000). The transfer of other tumor suppressor genes, such as the retinoblastoma (*Rb*), *p16*, *pTEN* and *mda-7* genes, also effected suppression of tumor growth, (Demers et al. 1998; Jarrard et al. 1997; Lu et al. 1997).

3.2 Protooncogenes

Protooncogenes are activated by overexpression due to gene amplification, point mutations, modification of regulatory elements leading to increased transcription, and rearrangements. The products of these genes include growth factors or their receptors (EGF, EGFR), signal transduction proteins (ras, PI3 kinase), transcription factors (myc, fos, jun) (Isaacs et al. 1995; Konishi et al. 1997; Roylance et al. 1997), and suppressors of apoptosis (bcl-2). Gene therapy strategies to correct protooncogene activation include the transfer of dominant negative gene products, antisense oligodeoxynucleotides, ribozymes, and small interference RNAs. For example, disruption of overexpressed c-*myc* using anti-sense c-*myc* resulted in a 94.5% reduction of tumor size in prostate cancer (Steiner et al. 1998).

3.3 Prodrug/Suicide

The mechanism of prodrug/suicide gene therapy is based on the difference in mitotic activity between normal and cancer cells. The cells are transduced with the herpes simplex virus thymidine kinase (HSV-TK) gene, and are subsequently killed by treatment with the drug acyclovir. The transduced enzyme, HSV-TK, phosphorylates the prodrug into the antiviral compund gancyclovir triphosphate, an inhibitor of DNA

synthesis, which leads to cell death (Ayala et al. 2000; Koeneman et al. 2000; Shalev et al. 2000; Martiniello-Wilks et al. 1998; Hall et al. 1999).

3.4 Apoptosis Induction

The triggering of programmed cell death in tumor cells without affecting normal cells is an attractive therapeutic approach in cancer gene therapy. Ligands that induce apoptosis include tumor necrosis factor (TNF)-α, FasL (Hedlund et al. 1998; Hedlund et al. 1999), and TRAIL (Griffith and Broghammer 2001; Voelkel-Johnson et al. 2002). As TRAIL has the lowest activity in normal tissue, it is an especially promising new therapeutic approach to cancer therapy.

3.5 Inhibition of Angiogenesis

Regulation of the angiogenic switch depends on the local balance between activators and inhibitors. Angiogenesis is triggered by the release of angiogenic stimulators by tumor cells, either as a result of genetic alterations or through activation of the physiologic response to hypoxia, which activates various inducible factors, e.g., transcription factors that trigger the transcription of genes encoding angiogenic stimulators. Many angiogenic factors have already been identified, including VEGF (Ferrara 1999), vascular permeability factor (VPF), FGF, EGF, platelet-derived endothelial growth factor (PD-EGF), PDGF, insulin-like growth factors (IGFs) (Trojan et al. 1994), interleukin-8 (IL-8), transforming growth factor α and β (TGF-α and -β) (Maggard et al. 2001), heparin growth factor, granulocyte colony stimulating factor (GMCSF), E-selectin (Tang et al. 2004), and TNF-α (Claesson-Welsh 2003; Brieger et al. 2003), and used for anti-angiogenic gene therapy of cancers. The goal of this type of therapy is to switch the balance between angiogenic factors and angiogenic inhibitors in the tumor microenvironment to the anti-angiogenic phenotype.

3.6 Increased Immunity

Gene therapy targeted to the immune system has a good likelihood of success as a cancer therapy. In this approach, an antitumor immune response in the host is created, either by immunotherapy, vaccination with cytokine genes, including IL-2 (Belldegrun et al. 2001; Kawakita et al. 1997; Moody et al. 1994; Toloza et al. 1996), IL-4, IL-7, IL-12 (Sanford et al. 2001; Hull et al. 2000; Nasu et al. 1999), GM-CSF (Simons et al. 1999), M-CSF, and interferons.

4 Conclusions

The therapeutic target and genes used for gene therapy in cancer are summarized in Table 2.

TABLE 2. Therapeutic target and genes used for gene therapy in cancer

Aim of Therapeutic Strategy	Target Genes
Induction of tumor suppressor genes	p53, Rb, p16, pTEN, mda-7
Suppression of Protooncogene	EGF, EGFR, ras, PI3 kinase, c-myc, c-fos, jun, Bcl-2
Prodrug/Suiside	HSV-tk (ganciclovir)
Apoptosis Induction	TNFa, Fas ligand
Induction of apoptosis	Bcl-2, c-myc, c-raf, MDM-2, IGF-II, STAT-3 p21, p53, Fas ligand, c-cam, Caspase7 TRAIL, Bax
Inhibition of angiogenesis	Suppression of VEGF, VPF, FGF, EGF, PD-EGF, IGFs IL-9, TGF-a and b, GM-CSF, E-selection, TNF-a
Immunotherapy	IL-2, IL-4, IL-7, IL-12, GM-CSF, Interferons

References

Achen MG, Jeltsch M, Kukk E, Makinen T, Vitali A, Wilks AF, Alitalo K, Stacker SA (1998) Vascular endothelial growth factor D (VEGF-D) is a ligand for the tyrosine kinases VEGF receptor 2 (Flk1) and VEGF receptor 3 (Flt4). Proc Natl Acad Sci USA 95: 548–553

Ayala G, Wheeler TM, Shalev M, Thompson TC, Miles B, Aguilar-Cordova E, Chakraborty S, Kadmon D (2000) Cytopathic effect of in situ gene therapy in prostate cancer. Hum Pathol 31:866–870

Belalcazar LM, Merched A, Carr B, Oka K, Chen KH, Pastore L, Beaudet A, Chan L (2003) Long-term stable expression of human apolipoprotein A-I mediated by helper-dependent adenovirus gene transfer inhibits atherosclerosis progression and remodels atherosclerotic plaques in a mouse model of familial hypercholesterolemia. Circulation 107:2726–2732

Belldegrun A, Tso CL, Zisman A, Naitoh J, Said J, Pantuck AJ, Hinkel A, deKernion J, Figlin R (2001) Interleukin 2 gene therapy for prostate cancer: phase I clinical trial and basic biology. Hum Gene Ther 12:883–892

Benoit P, Emmanuel F, Caillaud JM, Bassinet L, Castro G, Gallix P, Fruchart JC, Branellec D, Denefle P, Duverger N (1999) Somatic gene transfer of human ApoA-I inhibits atherosclerosis progression in mouse models. Circulation 99:105–110

Bookstein R, MacGrogan D, Hilsenbeck SG, Sharkey F, Allred DC (1993) p53 is mutated in a subset of advanced-stage prostate cancers. Cancer Res 53:3369–3373

Brieger J, Bedavanija A, Lehr HA, Maurer J, Mann WJ (2003) Expression of angiogenic growth factors in acoustic neurinoma. Acta Otolaryngol 123:1040–1045

Brousseau ME, Wang J, Demosky SJ, Jr., Vaisman BL, Talley GD, Santamarina-Fojo S, Brewer HB, Jr., Hoeg JM (1998) Correction of hypoalphalipoproteinemia in LDL receptor-deficient rabbits by lecithin:cholesterol acyltransferase. J Lipid Res 39:1558–1567

Burgess TL, Fisher EF, Ross SL, Bready JV, Qian YX, Bayewitch LA, Cohen AM, Herrera CJ, Hu SS, Kramer TB (1995) The antiproliferative activity of c-myb and c-myc antisense oligonucleotides in smooth muscle cells is caused by a nonantisense mechanism. Proc Natl Acad Sci U S A 92:4051–4055

Champion HC, Bivalacqua TJ, D'Souza FM, Ortiz LA, Jeter JR, Toyoda K, Heistad DD, Hyman AL, Kadowitz PJ (1999) Gene transfer of endothelial nitric oxide synthase to the lung of the mouse in vivo. Effect on agonist-induced and flow-mediated vascular responses. Circ Res 84:1422–1432

Champion HC, Bivalacqua TJ, Toyoda K, Heistad DD, Hyman AL, Kadowitz PJ (2000) In vivo gene transfer of prepro-calcitonin gene-related peptide to the lung attenuates

chronic hypoxia-induced pulmonary hypertension in the mouse. Circulation 101: 923–930
Chang MW, Barr E, Lu MM, Barton K, Leiden JM (1995a) Adenovirus-mediated overexpression of the cyclin/cyclin-dependent kinase inhibitor, p21 inhibits vascular smooth muscle cell proliferation and neointima formation in the rat carotid artery model of balloon angioplasty. J Clin Invest 96:2260–2268
Chang MW, Barr E, Seltzer J, Jiang YQ, Nabel GJ, Nabel EG, Parmacek MS, Leiden JM (1995b) Cytostatic gene therapy for vascular proliferative disorders with a constitutively active form of the retinoblastoma gene product. Science 267:518–522
Christman BW, McPherson CD, Newman JH, King GA, Bernard GR, Groves BM, Loyd JE (1992) An imbalance between the excretion of thromboxane and prostacyclin metabolites in pulmonary hypertension. N Engl J Med 327:70–75
Cioffi L, Sturtz FG, Wittmer S, Barut B, Smith-Gbur J, Moore V, Zupancic T, Gilligan B, Auerbach R, Gomez F, Chauvin F, Antczak M, Platika D, Snodgrass HR (1999) A novel endothelial cell-based gene therapy platform for the in vivo delivery of apolipoprotein E. Gene Ther 6:1153–1159
Claesson-Welsh L (2003) Signal transduction by vascular endothelial growth factor receptors. Biochem Soc Trans 31:20–24
Demers GW, Harris MP, Wen SF, Engler H, Nielsen LL, Maneval DC (1998) A recombinant adenoviral vector expressing full-length human retinoblastoma susceptibility gene inhibits human tumor cell growth. Cancer Gene Ther 5:207–214
Dichek DA, Anderson J, Kelly AB, Hanson SR, Harker LA (1996) Enhanced in vivo antithrombotic effects of endothelial cells expressing recombinant plasminogen activators transduced with retroviral vectors. Circulation 93:301–309
Dvorak HF, Brown LF, Detmar M, Dvorak AM (1995) Vascular permeability factor/vascular endothelial growth factor, microvascular hyperpermeability, and angiogenesis. Am J Pathol 146:1029–1039
Edvinsson L, Ekman R, Jansen I, McCulloch J, Mortensen A, Uddman R (1991) Reduced levels of calcitonin gene-related peptide-like immunoreactivity in human brain vessels after subarachnoid haemorrhage. Neurosci Lett 121:151–154
Excoffon KJ, Liu G, Miao L, Wilson JE, McManus BM, Semenkovich CF, Coleman T, Benoit P, Duverger N, Branellec D, Denefle P, Hayden MR, Lewis ME (1997) Correction of hypertriglyceridemia and impaired fat tolerance in lipoprotein lipase-deficient mice by adenovirus-mediated expression of human lipoprotein lipase. Arterioscler Thromb Vasc Biol 17:2532–2539
Ferrara N (1999) Molecular and biological properties of vascular endothelial growth factor. J Mol Med 77:527–543
Ferrara N (2000) VEGF: an update on biological and therapeutic aspects. Curr Opin Biotechnol 11:617–624
Ferrara N (2001) Role of vascular endothelial growth factor in regulation of physiological angiogenesis. Am J Physiol Cell Physiol 280:C1358–C1366
Galzie Z, Kinsella AR, Smith JA (1997) Fibroblast growth factors and their receptors. Biochem Cell Biol 75:669–685
Goldstein JL HH, Brown MS (2001) Familial hypercholesterolemia. Vol chap. 120. McGraw-Hill, New York
Gough PJ, Raines EW (2003) Gene therapy of apolipoprotein E-deficient mice using a novel macrophage-specific retroviral vector. Blood 101:485–491
Greeve J, Jona VK, Chowdhury NR, Horwitz MS, Chowdhury JR (1996) Hepatic gene transfer of the catalytic subunit of the apolipoprotein B mRNA editing enzyme results in a reduction of plasma LDL levels in normal and watanabe heritable hyperlipidemic rabbits. J Lipid Res 37:2001–2017
Griffith TS, Broghammer EL (2001) Suppression of tumor growth following intralesional therapy with TRAIL recombinant adenovirus. Mol Ther 4:257–266

Grines C, Rubanyi GM, Kleiman NS, Marrott P, Watkins MW (2003) Angiogenic gene therapy with adenovirus 5 fibroblast growth factor-4 (Ad5FGF-4): a new option for the treatment of coronary artery disease. Am J Cardiol 92:24N–31N

Grossman M, Rader DJ, Muller DW, Kolansky DM, Kozarsky K, Clark BJ, 3rd, Stein EA, Lupien PJ, Brewer HB, Jr., Raper SE (1995) A pilot study of ex vivo gene therapy for homozygous familial hypercholesterolaemia. Nat Med 1:1148–1154

Grossman M, Raper SE, Kozarsky K, Stein EA, Engelhardt JF, Muller D, Lupien PJ, Wilson JM (1994) Successful ex vivo gene therapy directed to liver in a patient with familial hypercholesterolaemia. Nat Genet 6:335–341

Hall SJ, Mutchnik SE, Yang G, Timme TL, Nasu Y, Bangma CH, Woo SL, Shaker M, Thompson TC (1999) Cooperative therapeutic effects of androgen ablation and adenovirus-mediated herpes simplex virus thymidine kinase gene and ganciclovir therapy in experimental prostate cancer. Cancer Gene Ther 6:54–63

Harris JD, Schepelmann S, Athanasopoulos T, Graham IR, Stannard AK, Mohri Z, Hill V, Hassall DG, Owen JS, Dickson G (2002) Inhibition of atherosclerosis in apolipoprotein-E-deficient mice following muscle transduction with adeno-associated virus vectors encoding human apolipoprotein-E. Gene Ther 9:21–29

Hattori K, Dias S, Heissig B, Hackett NR, Lyden D, Tateno M, Hicklin DJ, Zhu Z, Witte L, Crystal RG, Moore MA, Rafii S (2001) Vascular endothelial growth factor and angiopoietin-1 stimulate postnatal hematopoiesis by recruitment of vasculogenic and hematopoietic stem cells. J Exp Med 193:1005–1014

Hayashi S, Morishita R, Nakamura S, Yamamoto K, Moriguchi A, Nagano T, Taiji M, Noguchi H, Matsumoto K, Nakamura T, Higaki J, Ogihara T (1999) Potential role of hepatocyte growth factor, a novel angiogenic growth factor, in peripheral arterial disease: down-regulation of HGF in response to hypoxia in vascular cells. Circulation 100:II301–II308

Hedlund TE, Duke RC, Schleicher MS, Miller GJ (1998) Fas-mediated apoptosis in seven human prostate cancer cell lines: correlation with tumor stage. Prostate 36:92–101

Hedlund TE, Meech SJ, Srikanth S, Kraft AS, Miller GJ, Schaack JB, Duke RC (1999) Adenovirus-mediated expression of Fas ligand induces apoptosis of human prostate cancer cells. Cell Death Differ 6:175–182

Hiltunen MO, Laitinen M, Turunen MP, Jeltsch M, Hartikainen J, Rissanen TT, Laukkanen J, Niemi M, Kossila M, Hakkinen TP, Kivela A, Enholm B, Mansukoski H, Turunen AM, Alitalo K, Yla-Herttuala S (2000) Intravascular adenovirus-mediated VEGF-C gene transfer reduces neointima formation in balloon-denuded rabbit aorta. Circulation 102: 2262–2268

Horio Y, Hasegawa Y, Sekido Y, Takahashi M, Roth JA, Shimokata K (2000) Synergistic effects of adenovirus expressing wild-type p53 on chemosensitivity of non-small cell lung cancer cells. Cancer Gene Ther 7:537–544

Hull GW, McCurdy MA, Nasu Y, Bangma CH, Yang G, Shimura S, Lee HM, Wang J, Albani J, Ebara S, Sato T, Timme TL, Thompson TC (2000) Prostate cancer gene therapy: comparison of adenovirus-mediated expression of interleukin 12 with interleukin 12 plus B7-1 for in situ gene therapy and gene-modified, cell-based vaccines. Clin Cancer Res 6:4101–4109

Indolfi C, Avvedimento EV, Rapacciuolo A, Di Lorenzo E, Esposito G, Stabile E, Feliciello A, Mele E, Giuliano P, Condorelli G (1995) Inhibition of cellular ras prevents smooth muscle cell proliferation after vascular injury in vivo. Nat Med 1:541–545

Isaacs WB, Bova GS, Morton RA, Bussemakers MJ, Brooks JD, Ewing CM (1995) Molecular biology of prostate cancer progression. Cancer Surv 23:19–32

Jalkanen J, Leppanen P, Narvanen O, Greaves DR, Yla-Herttuala S (2003a) Adenovirus-mediated gene transfer of a secreted decoy human macrophage scavenger receptor (SR-AI) in LDL receptor knock-out mice. Atherosclerosis 169:95–103

Jalkanen J, Leppanen P, Pajusola K, Narvanen O, Mahonen A, Vahakangas E, Greaves DR, Bueler H, Yla-Herttuala S (2003b) Adeno-associated virus-mediated gene transfer of a

secreted decoy human macrophage scavenger receptor reduces atherosclerotic lesion formation in LDL receptor knockout mice. Mol Ther 8:903–910
Jarrard DF, Bova GS, Ewing CM, Pin SS, Nguyen SH, Baylin SB, Cairns P, Sidransky D, Herman JG, Isaacs WB (1997) Deletional, mutational, and methylation analyses of CDKN2 (p16/MTS1) in primary and metastatic prostate cancer. Genes Chromosomes Cancer 19:90–96
Javerzat S, Auguste P, Bikfalvi A (2002) The role of fibroblast growth factors in vascular development. Trends Mol Med 8:483–489
Joukov V, Pajusola K, Kaipainen A, Chilov D, Lahtinen I, Kukk E, Saksela O, Kalkkinen N, Alitalo K (1996) A novel vascular endothelial growth factor, VEGF-C, is a ligand for the Flt4 (VEGFR-3) and KDR (VEGFR-2) receptor tyrosine kinases. Embo J 15:290–298
Kamii H, Kato I, Kinouchi H, Chan PH, Epstein CJ, Akabane A, Okamoto H, Yoshimoto T (1999) Amelioration of vasospasm after subarachnoid hemorrhage in transgenic mice overexpressing CuZn-superoxide dismutase. Stroke 30:867–871; discussion 872
Kankkonen HM, Vahakangas E, Marr RA, Pakkanen T, Laurema A, Leppanen P, Jalkanen J, Verma IM, Yla-Herttuala S (2004) Long-term lowering of plasma cholesterol levels in LDL-receptor-deficient WHHL rabbits by gene therapy. Mol Ther 9:548–556
Kawakita M, Rao GS, Ritchey JK, Ornstein DK, Hudson MA, Tartaglia J, Paoletti E, Humphrey PA, Harmon TJ, Ratliff TL (1997) Effect of canarypox virus (ALVAC)-mediated cytokine expression on murine prostate tumor growth. J Natl Cancer Inst 89:428–436
Kiba A, Sagara H, Hara T, Shibuya M (2003) VEGFR-2-specific ligand VEGF-E induces non-edematous hyper-vascularization in mice. Biochem Biophys Res Commun 301:371–377
Koeneman KS, Kao C, Ko SC, Yang L, Wada Y, Kallmes DF, Gillenwater JY, Zhau HE, Chung LW, Gardner TA (2000) Osteocalcin-directed gene therapy for prostate-cancer bone metastasis. World J Urol 18:102–110
Koike T, Liang J, Wang X, Ichikawa T, Shiomi M, Liu G, Sun H, Kitajima S, Morimoto M, Watanabe T, Yamada N, Fan J (2004) Overexpression of lipoprotein lipase in transgenic Watanabe heritable hyperlipidemic rabbits improves hyperlipidemia and obesity. J Biol Chem 279:7521–7529
Konishi N, Cho M, Yamamoto K, Hiasa Y (1997) Genetic changes in prostate cancer. Pathol Int 47:735–747
Kozarsky KF, Bonen DK, Giannoni F, Funahashi T, Wilson JM, Davidson NO (1996) Hepatic expression of the catalytic subunit of the apolipoprotein B mRNA editing enzyme (apobec-1) ameliorates hypercholesterolemia in LDL receptor-deficient rabbits. Hum Gene Ther 7:943–957
Kozarsky KF, McKinley DR, Austin LL, Raper SE, Stratford-Perricaudet LD, Wilson JM (1994) In vivo correction of low density lipoprotein receptor deficiency in the Watanabe heritable hyperlipidemic rabbit with recombinant adenoviruses. J Biol Chem 269:13695–13702
Laitinen M, Zachary I, Breier G, Pakkanen T, Hakkinen T, Luoma J, Abedi H, Risau W, Soma M, Laakso M, Martin JF, Yla-Herttuala S (1997) VEGF gene transfer reduces intimal thickening via increased production of nitric oxide in carotid arteries. Hum Gene Ther 8:1737–1744
Lebherz C, Gao G, Louboutin JP, Millar J, Rader D, Wilson JM (2004) Gene therapy with novel adeno-associated virus vectors substantially diminishes atherosclerosis in a murine model of familial hypercholesterolemia. J Gene Med 6:663–672
Leung DW, Cachianes G, Kuang WJ, Goeddel DV, Ferrara N (1989) Vascular endothelial growth factor is a secreted angiogenic mitogen. Science 246:1306–1309
Levy AP, Levy NS, Wegner S, Goldberg MA (1995) Transcriptional regulation of the rat vascular endothelial growth factor gene by hypoxia. J Biol Chem 270:13333–13340
Liu G, Ashbourne Excoffon KJ, Wilson JE, McManus BM, Rogers QR, Miao L, Kastelein JJ, Lewis ME, Hayden MR (2000) Phenotypic correction of feline lipoprotein lipase deficiency by adenoviral gene transfer. Hum Gene Ther 11:21–32

Losordo DW, Vale PR, Symes JF, Dunnington CH, Esakof DD, Maysky M, Ashare AB, Lathi K, Isner JM (1998) Gene therapy for myocardial angiogenesis: initial clinical results with direct myocardial injection of phVEGF165 as sole therapy for myocardial ischemia. Circulation 98:2800–2804

Lu S, Tsai SY, Tsai MJ (1997) Regulation of androgen-dependent prostatic cancer cell growth: androgen regulation of CDK2, CDK4, and CKI p16 genes. Cancer Res 57: 4511–4516

Maggard M, Meng L, Ke B, Allen R, Devgan L, Imagawa DK (2001) Antisense TGF-beta2 immunotherapy for hepatocellular carcinoma: treatment in a rat tumor model. Ann Surg Oncol 8:32–37

Maglione D, Guerriero V, Viglietto G, Ferraro MG, Aprelikova O, Alitalo K, Del Vecchio S, Lei KJ, Chou JY, Persico MG (1993) Two alternative mRNAs coding for the angiogenic factor, placenta growth factor (PlGF), are transcribed from a single gene of chromosome 14. Oncogene 8:925–931

Martiniello-Wilks R, Garcia-Aragon J, Daja MM, Russell P, Both GW, Molloy PL, Lockett LJ, Russell PJ (1998) In vivo gene therapy for prostate cancer: preclinical evaluation of two different enzyme-directed prodrug therapy systems delivered by identical adenovirus vectors. Hum Gene Ther 9:1617–1626

McGirt MJ, Parra A, Sheng H, Higuchi Y, Oury TD, Laskowitz DT, Pearlstein RD, Warner DS (2002) Attenuation of cerebral vasospasm after subarachnoid hemorrhage in mice overexpressing extracellular superoxide dismutase. Stroke 33:2317–2323

Moody DB, Robinson JC, Ewing CM, Lazenby AJ, Isaacs WB (1994) Interleukin-2 transfected prostate cancer cells generate a local antitumor effect in vivo. Prostate 24:244–251

Morishige K, Shimokawa H, Yamawaki T, Miyata K, Eto Y, Kandabashi T, Yogo K, Higo T, Egashira K, Ueno H, Takeshita A (2000) Local adenovirus-mediated transfer of C-type natriuretic peptide suppresses vascular remodeling in porcine coronary arteries in vivo. J Am Coll Cardiol 35:1040–1047

Morishita R (2004) Perspective in progress of cardiovascular gene therapy. J Pharmacol Sci 95:1–8

Morishita R, Gibbons GH, Ellison KE, Nakajima M, Zhang L, Kaneda Y, Ogihara T, Dzau VJ (1993) Single intraluminal delivery of antisense cdc2 kinase and proliferating-cell nuclear antigen oligonucleotides results in chronic inhibition of neointimal hyperplasia. Proc Natl Acad Sci U S A 90:8474–8478

Morishita R, Nakamura S, Hayashi S, Taniyama Y, Moriguchi A, Nagano T, Taiji M, Noguchi H, Takeshita S, Matsumoto K, Nakamura T, Higaki J, Ogihara T (1999) Therapeutic angiogenesis induced by human recombinant hepatocyte growth factor in rabbit hind limb ischemia model as cytokine supplement therapy. Hypertension 33:1379–1384

Morishita R, Sakaki M, Yamamoto K, Iguchi S, Aoki M, Yamasaki K, Matsumoto K, Nakamura T, Lawn R, Ogihara T, Kaneda Y (2002) Impairment of collateral formation in lipoprotein(a) transgenic mice: therapeutic angiogenesis induced by human hepatocyte growth factor gene. Circulation 105:1491–1496

Morishita R, Sugimoto T, Aoki M, Kida I, Tomita N, Moriguchi A, Maeda K, Sawa Y, Kaneda Y, Higaki J, Ogihara T (1997) In vivo transfection of cis element "decoy" against nuclear factor-kappaB binding site prevents myocardial infarction. Nat Med 3:894–899

Nagaya N (2004) Drug therapy of primary pulmonary hypertension. Am J Cardiovasc Drugs 4:75–85

Nagaya N, Yokoyama C, Kyotani S, Shimonishi M, Morishita R, Uematsu M, Nishikimi T, Nakanishi N, Ogihara T, Yamagishi M, Miyatake K, Kaneda Y, Tanabe T (2000) Gene transfer of human prostacyclin synthase ameliorates monocrotaline-induced pulmonary hypertension in rats. Circulation 102:2005–2010

Nasu Y, Bangma CH, Hull GW, Lee HM, Hu J, Wang J, McCurdy MA, Shimura S, Yang G, Timme TL, Thompson TC (1999) Adenovirus-mediated interleukin-12 gene therapy for prostate cancer: suppression of orthotopic tumor growth and pre-established lung metastases in an orthotopic model. Gene Ther 6:338–349

Nishida T, Ueno H, Atsuchi N, Kawano R, Asada Y, Nakahara Y, Kamikubo Y, Takeshita A, Yasui H (1999) Adenovirus-mediated local expression of human tissue factor pathway inhibitor eliminates shear stress-induced recurrent thrombosis in the injured carotid artery of the rabbit. Circ Res 84:1446–1452

Nozaki K, Kikuchi H, Mizuno N (1989) Changes of calcitonin gene-related peptide-like immunoreactivity in cerebrovascular nerve fibers in the dog after experimentally produced subarachnoid hemorrhage. Neurosci Lett 102:27–32

Ogawa S, Oku A, Sawano A, Yamaguchi S, Yazaki Y, Shibuya M (1998) A novel type of vascular endothelial growth factor, VEGF-E (NZ-7 VEGF), preferentially utilizes KDR/Flk-1 receptor and carries a potent mitotic activity without heparin-binding domain. J Biol Chem 273:31273–31282

Okamoto Y, Kihara S, Ouchi N, Nishida M, Arita Y, Kumada M, Ohashi K, Sakai N, Shimomura I, Kobayashi H, Terasaka N, Inaba T, Funahashi T, Matsuzawa Y (2002) Adiponectin reduces atherosclerosis in apolipoprotein E-deficient mice. Circulation 106:2767–2770

Olofsson B, Pajusola K, Kaipainen A, von Euler G, Joukov V, Saksela O, Orpana A, Pettersson RF, Alitalo K, Eriksson U (1996) Vascular endothelial growth factor B, a novel growth factor for endothelial cells. Proc Natl Acad Sci U S A 93:2576–2581

Onoda K, Ono S, Ogihara K, Shiota T, Asari S, Ohmoto T, Ninomiya Y (1996) Inhibition of vascular contraction by intracisternal administration of preproendothelin-1 mRNA antisense oligoDNA in a rat experimental vasospasm model. J Neurosurg 85:846–852

Onoue H, Tsutsui M, Smith L, Stelter A, O'Brien T, Katusic ZS (1998) Expression and function of recombinant endothelial nitric oxide synthase gene in canine basilar artery after experimental subarachnoid hemorrhage. Stroke 29:1959–1965; discussion 1965–1966

Ornitz DM, Xu J, Colvin JS, McEwen DG, MacArthur CA, Coulier F, Gao G, Goldfarb M (1996) Receptor specificity of the fibroblast growth factor family. J Biol Chem 271: 15292–15297

Pakkanen TM, Laitinen M, Hippelainen M, Kallionpaa H, Lehtolainen P, Leppanen P, Luoma JS, Tarvainen R, Alhava E, Yla-Herttuala S (1999) Enhanced plasma cholesterol lowering effect of retrovirus-mediated LDL receptor gene transfer to WHHL rabbit liver after improved surgical technique and stimulation of hepatocyte proliferation by combined partial liver resection and thymidine kinase–ganciclovir treatment. Gene Ther 6:34–41

Pollman MJ, Hall JL, Mann MJ, Zhang L, Gibbons GH (1998) Inhibition of neointimal cell bcl-x expression induces apoptosis and regression of vascular disease. Nat Med 4:222–227

Rade JJ, Schulick AH, Virmani R, Dichek DA (1996) Local adenoviral-mediated expression of recombinant hirudin reduces neointima formation after arterial injury. Nat Med 2:293–298

Rissanen TT, Markkanen JE, Gruchala M, Heikura T, Puranen A, Kettunen MI, Kholova I, Kauppinen RA, Achen MG, Stacker SA, Alitalo K, Yla-Herttuala S (2003) VEGF-D is the strongest angiogenic and lymphangiogenic effector among VEGFs delivered into skeletal muscle via adenoviruses. Circ Res 92:1098–1106

Roylance R, Spurr N, Sheer D (1997) The genetic analysis of prostate carcinoma. Semin Cancer Biol 8:37–44

Sanford MA, Yan Y, Canfield SE, Hassan W, Selleck WA, Atkinson G, Chen SH, Hall SJ (2001) Independent contributions of GR-1+ leukocytes and Fas/FasL interactions to induce apoptosis following interleukin-12 gene therapy in a metastatic model of prostate cancer. Hum Gene Ther 12:1485–1498

Seguret-Mace S, Latta-Mahieu M, Castro G, Luc G, Fruchart JC, Rubin E, Denefle P, Duverger N (1996) Potential gene therapy for lecithin-cholesterol acyltransferase (LCAT)-deficient and hypoalphalipoproteinemic patients with adenovirus-mediated transfer of human LCAT gene. Circulation 94:2177–2184

Shalev M, Kadmon D, Teh BS, Butler EB, Aguilar-Cordova E, Thompson TC, Herman JR, Adler HL, Scardino PT, Miles BJ (2000) Suicide gene therapy toxicity after multiple and repeat injections in patients with localized prostate cancer. J Urol 163:1747–1750

Siddiqui AJ, Blomberg P, Wardell E, Hellgren I, Eskandarpour M, Islam KB, Sylven C (2003) Combination of angiopoietin-1 and vascular endothelial growth factor gene therapy enhances arteriogenesis in the ischemic myocardium. Biochem Biophys Res Commun 310:1002–1009

Simons JW, Mikhak B, Chang JF, DeMarzo AM, Carducci MA, Lim M, Weber CE, Baccala AA, Goemann MA, Clift SM, Ando DG, Levitsky HI, Cohen LK, Sanda MG, Mulligan RC, Partin AW, Carter HB, Piantadosi S, Marshall FF, Nelson WG (1999) Induction of immunity to prostate cancer antigens: results of a clinical trial of vaccination with irradiated autologous prostate tumor cells engineered to secrete granulocyte-macrophage colony-stimulating factor using ex vivo gene transfer. Cancer Res 59:5160–5168

Smith RC, Branellec D, Gorski DH, Guo K, Perlman H, Dedieu JF, Pastore C, Mahfoudi A, Denefle P, Isner JM, Walsh K (1997) p21CIP1-mediated inhibition of cell proliferation by overexpression of the gax homeodomain gene. Genes Dev 11:1674–1689

Steiner MS, Anthony CT, Lu Y, Holt JT (1998) Antisense c-myc retroviral vector suppresses established human prostate cancer. Hum Gene Ther 9:747–755

Suzuki J, Isobe M, Morishita R, Aoki M, Horie S, Okubo Y, Kaneda Y, Sawa Y, Matsuda H, Ogihara T, Sekiguchi M (1997) Prevention of graft coronary arteriosclerosis by antisense cdk2 kinase oligonucleotide. Nat Med 3:900–903

Tang NH, Chen YL, Wang XQ, Li XJ, Yin FZ, Wang XZ (2004) Cooperative inhibitory effects of antisense oligonucleotide of cell adhesion molecules and cimetidine on cancer cell adhesion. World J Gastroenterol 10:62–66

Tanner FC, Yang ZY, Duckers E, Gordon D, Nabel GJ, Nabel EG (1998) Expression of cyclin-dependent kinase inhibitors in vascular disease. Circ Res 82:396–403

Toloza EM, Hunt K, Swisher S, McBride W, Lau R, Pang S, Rhoades K, Drake T, Belldegrun A, Glaspy J, Economou JS (1996) In vivo cancer gene therapy with a recombinant interleukin-2 adenovirus vector. Cancer Gene Ther 3:11–17

Topol EJ, Serruys PW (1998) Frontiers in interventional cardiology. Circulation 98:1802–1820

Toyoda K, Chu Y, Heistad DD (2003) Gene therapy for cerebral vascular disease: update 2003. Br J Pharmacol 139:1–9

Trojan J, Johnson TR, Rudin SD, Blossey BK, Kelley KM, Shevelev A, Abdul-Karim FW, Anthony DD, Tykocinski ML, Ilan J (1994) Gene therapy of murine teratocarcinoma: separate functions for insulin-like growth factors I and II in immunogenicity and differentiation. Proc Natl Acad Sci U S A 91:6088–6092

Tuder RM, Cool CD, Geraci MW, Wang J, Abman SH, Wright L, Badesch D, Voelkel NF (1999) Prostacyclin synthase expression is decreased in lungs from patients with severe pulmonary hypertension. Am J Respir Crit Care Med 159:1925–1932

Ueno H, Haruno A, Morisaki N, Furuya M, Kangawa K, Takeshita A, Saito Y (1997a) Local expression of C-type natriuretic peptide markedly suppresses neointimal formation in rat injured arteries through an autocrine/paracrine loop. Circulation 96:2272–2279

Ueno H, Li JJ, Masuda S, Qi Z, Yamamoto H, Takeshita A (1997b) Adenovirus-mediated expression of the secreted form of basic fibroblast growth factor (FGF-2) induces cellular proliferation and angiogenesis in vivo. Arterioscler Thromb Vasc Biol 17:2453–2460

Vale PR, Losordo DW, Milliken CE, Maysky M, Esakof DD, Symes JF, Isner JM (2000) Left ventricular electromechanical mapping to assess efficacy of phVEGF(165) gene transfer for therapeutic angiogenesis in chronic myocardial ischemia. Circulation 102:965–974

Voelkel-Johnson C, King DL, Norris JS (2002) Resistance of prostate cancer cells to soluble TNF-related apoptosis-inducing ligand (TRAIL/Apo2L) can be overcome by doxorubicin or adenoviral delivery of full-length TRAIL. Cancer Gene Ther 9:164–172